

2013年10月11日(金)第12回「34歩く会」

空堀川を巡る上北台から秋津駅までの空堀川を歩く

東大和は貯水池と玉川上水などが頭に浮かぶが真ん中に空堀川がありました。川鍋さんは良く計画を立ててくれます。この計画を立てるのに時間や休憩場所トイレと事前に歩いて計画を立ててくれます。感謝しています。D組の郡さん(小宮)は2年前腰を痛めて買い物にもいけない、上岡さんが買い物するなど苦しみましたが、前回・今回と元気に参加しています、みんなで会える事を楽しみに毎日少しずつ歩く時間を増やした、歩ける様になったそうです。元気で毎日過ごしましょう。



東大和市の真ん中を、西から東へと流れる空堀川に上北からを入りました。



空堀川もきれいになって、釣りをする人が、魚が群れをなして泳いでいました。



サギがいました。高木橋です。



空堀川から八坂神社にきました。社務所の軒下を借り昼食をいただきました。



八坂神社から久米川駅に出て又所沢街道の手前の木陰で休憩。志木街道の「野塩橋」JR武蔵野線の新秋津駅から小田原の大貫さん・成田の佐々さん・八王子の山崎さんはここでわかれました。我々西武線で所沢・小川から東大和市駅につき「貳拾四文」八時近くまで盛り上がりました。東大和はまだまだ良いところがありますね。

空堀川を巡る

上北台駅から久米川駅までの空堀川と東村山浄水場の見学

緑と水に恵まれた我が東大和市の真ん中を、西から東へと流れる空堀川を巡り歩きましょう。

空堀川は、狭山丘陵の南西、武蔵村山市の野川北公園から武蔵村山市と東大和市の真ん中を流れ、東村山市、清瀬市を經由して柳瀬川に合流している一級河川です。

この数年、災害防止の観点から大規模な工事により新しく生まれ変わりつつあります。新しくできた河川敷の脇には旧河川が取り残されているところもあり、新旧の対比、周辺の変貌などを見つめ直すことも興味深いのではないのでしょうか。また、空堀川から我々の町を観ると、普段見慣れた景色とは全く別の景観が観られ、どこかよその町に行ったような気分にもなることでしょう。

空堀川にはいろいろな水鳥も来ており、小魚も泳いでおり、自然が豊かで、広い河川敷を歩けるところもあります。空堀川の遊歩道は整備されており、東に向かって歩くと、久米川駅の近くを通り、西武池袋線の清瀬駅の先まで3、4時間で歩けますが、体力と、歩行時間を考慮して、今回は久米川駅まで歩きましょう。

途中、久米川駅の手前に、東村山浄水場がありますので、ここで昼食をとり、場内を見学したいと思います。東村山浄水場は、この前歩いた玉川上水の水と、多摩湖からの水と、利根川からの水を集め、浄化して都民の水道水にしているところです。新しい浄化装置などが見所かと思えます。場内の見学は係員の案内と説明で約2時間ほどの予定です。

見学してお勉強した後は、久米川駅まで歩き、西武線で、東大和市駅に戻ります。そして、今日の反省会とクラス会をやり、多いに盛り上がりましょう！（歩行距離；7～8km）

1. 開催日；平成25年10月11日(金) 10時集合

(東村山浄水場の見学は平日のみのため、今回は平日開催に致しました)

2. 集合場所；上北台駅

3. 歩行コース；(ト)はトイレ

上北台駅(ト)→狭山の第4小の南→多摩湖自転車道→東村山浄水場(ト)(昼食、場内の見学)→

10:00 10:50 11:00 11:45 12:00 15:00

→八坂神社(ト)→久米川駅→東大和市駅→(クラス会)

15:15 15:30 15:45 16:00

4. 注意事項；

- ① 小雨決行です。
- ② 昼食は、上北台駅付近で購入が可能です。前もってご用意しておくことをお勧めします。
- ③ トイレは上北台から東村山浄水場までの間にはありませんが、空堀川は新青梅街道の沿っており、緊急の場合はヤマダ電器などの店のトイレを借用することも可能です。

第12回「34歩く会」歩行記 空堀川を巡る

2013年10月11日

今朝目覚めると雨だ。天気予報を見ると、次第に天気は回復すること。集合時間の30分前(9:30)になると、雨は止み青空が広がってきた。集合場所の上北台駅には、もう10名ほどが駅前広場の木の下に来ている。成田からは佐々さんが、小田原からは大貫さんが……。その後も次々に懐かしい仲間が集まり、10時には15名が集まる。

今日はいつもの土曜日ではなく平日の金曜日なので、都合が悪く参加できない人もいようだ。当初、「東村山浄水場」を見学の予定であったが、いろいろ手違いがあり、浄水場でも予定が入り見学できなくなってしまった。また浄水場内では昼食も不可なので、コースを変更して浄水場をパスして、八坂神社で昼食をとり、久米川駅を經由してさらに空堀川を下り、西武線の秋津駅まで歩くことにする。空堀川は、武蔵村山の「かたくりの湯」がある野山北公園を源に、東大和で奈良橋川を合流し、東村山を流れ、柳瀬川に合流して荒川に入り、東京湾に流れ込んでいる一級河川だ。

この数日30℃を超す暑い日が続いており、10月としては長い観測史上新記録で、夏の猛暑と共に異常気象だ。今日も晴天でもう暑い。熱中症にならないように水分を充分に取るように注意して、大貫さんの指導でストレッチの後、集合写真を撮っていざ出発。(10:20)

上北台駅から北に向い、新青梅街道を横切り芝中団地南の上砂橋から空堀川の南側の遊歩道に入る。この辺は遊歩道の整備がまだ十分ではなく、草の生えた土の細道が続いており、草を踏みながらのウォーキングで、土の弾力が気持ちよく伝わってくる。第5中学校を右に見て快適に東に進む。

しばらく進むと、一部工事が終了したばかりの真新しい遊歩道に出る。芝中団地と空堀川との間には、少し前までは農地で木々が茂っていたが、今は真新しい家が建ち並び景観が大きく変わっている。芝中団地東から庚申塚付近までは空堀川は大きく蛇行しており、新しく広い河川が掘り進められており、まだ水は流れていない。

旧河川と茶畑との間の小路を歩く。茶畑の向うには農家も見え、畑の中を歩いているようで、何とも気持ちが良い。この辺の景観は、普段、車で走ってはいは絶対見られない懐かしい風景で、中学時代の通学路を思い出す。これから河川や遊歩道の工事が進むと、この景観は無くなってしまうことだろう。庚申塚北の青梅街道を横断すると、兩岸の遊歩道が整備され、広い河川が真っ直ぐに伸びている。今日は暑いので右岸(南側)の遊歩道の日陰を歩く。

高木付近になると、旧河川は大きく蛇行しており、奈良橋川も合流している。このためこの付近は10数年前までは川が氾濫して広範囲で浸水することがしばしばあった所だ。複雑な地形のため、川の新設・改質工事が一部出来ておらず遊歩道も無く一般道を大きく迂回して進む。(10:50)

高木橋から下を覗くと無数の小魚が泳いでいる。ハヤだ。そんな小魚を求めて白サギが舞いおりてきて水面をつついてる。この辺にはカワセミもいるようだ。橋の少し先には遊歩道から川に降りられる階段があるので、川端に降りてみると5~10cmほどの小魚が無数に泳いでいる。3cmほどの小魚も沢山いる。この辺の川は良く清掃されており、水もきれいになっているからだろう。空堀川を守る会などのボランティアの人達のおかげだろう。

その先の遊歩道には釣を楽しんでいる人がいる。しばしお話をする。ハヤが釣れるようだ。この辺は、普段見たことのないような東大和の世界だ。第4小学校の南で一休み。(11:15)

一休みの後、遊歩道を歩いている人と挨拶したり言葉を交わしながら歩く。この付近には遊歩道に沿って草花が綺麗に植えられている。金木犀も黄色い花をこぼしながらまだ芳香を放っている。紅白そして黄色いコスモスがあちこちで満開だ。今日(11月11日)の花である秋明菊のピンクの花が見事に咲いている。秋明菊は白色もあり、花言葉は「忍耐」だそうだ。我々も苦勞を耐え忍んできたこの人生だ。今日の暑さにも耐え、ゴールまで楽しくウォーキングを完歩しよう!

三光院の北を過ぎ、西武多摩湖線の陸橋の手前まで来ると、この暑さのためか体調が悪くなってきた人がいるので一休みし、歩行ペースを落として行く。この陸橋の付近の土手にもいろいろな花が咲き乱

れており、手入れも良くされている。どのような人達が管理しているのだろう。(「空堀川に清流を取り戻す会」などが植栽や管理もしているようだ)

多摩湖線の手前で遊歩道は一旦通行止めになっており、そこからは階段で河川敷に降り、水が流れている所の飛び石を渡って歩く。西武線のガードの下にはホームレスが居たようで、椅子などが残っている。階段を登り再び遊歩道に戻ると、そこは「多摩湖自転車道」だ。2年前に「桜ウオーク」で歩いた水道道路で、目の前には都立東村山浄水場も広がっている。ここで一休み。(11:40-45)

東村山浄水場は、昭和36年に完成した。それまで村山貯水池の水は水道道路の地下の隧道を通過して境浄水場に送られていたが、東京の人口増加でその水を賄うために造られたものだ。村山貯水池や玉川上水からの水、更に利根川からの水を集め、浄化している。オゾン活性炭浄化装置が自慢だ。浄化した水は立川や小平などの多摩地区や都内に送られている。東大和市には送られてないようだ。

そこからの遊歩道には2年前の春、見事な花が咲いていた河津桜の並木が伸びている。新青梅街道と並行して進み、やがて東村山浄水場入口の信号で新青梅街道を横断して道路の南側に出る。遊歩道を少し進むと、空堀川の対岸からワイヤーが数本張られており、ウインチで引っ張られている。これは春に沢山のコイノボリを吊るして泳がせている所だ。

やがて府中街道の大通りに出、右に曲がって直ぐ近くに「八坂神社」へ。「八坂神社」は境内が広く社殿も新しく立派な神社だ。祭神はスサノオノミコトで、創建は西暦1300~1400年頃とか。皆さんで参拝をして、2礼2拍手1礼をして健康とウオーキングの無事などを祈る。(12:08)

増田さん等が社務所で昼食の許可をいただいた。境内には沢山の榎の大木が生い茂り、足元には椎の実が一面に敷き詰められたように落ちている境内を歩き、社務所の軒下に一列になって座り昼食をいただく。長距離を歩き、お腹がすいたので、しばらくは無言でおにぎりなどをパクついていると、お漬物などのお裾分けが次々に回ってきて美味しくいただく。木漏れ日の下、涼しい風も吹き抜け、気持ち良くて昼寝をしたいようだ。空腹を満たし、十分に休んだ後に、境内で集合写真を撮り、再出発!(12:55)

府中街道を横断して再び空堀川の遊歩道を進むと、ビル群の裏手になり普段見られないような景観だ。やがて飲み屋や食べ物屋が並ぶ路地を通り抜け、久米川駅に出る。(13:10)久米川駅の西の踏切を渡り、再び空堀川へ。この先の空堀川は川幅が広く、両岸も良く整備されているが、川には水が無い!

東村山の都営久米川団地を左に見ながら空堀川の右岸(南側)の遊歩道を快適に進む。秋晴れで暑いのが川を渡ってくる風が吹き、日陰は涼しく快適に足が進む。所沢街道の手前の緑陰で一休み。暑いので喉が渇き、数名のウオークでK君が飲料をまとめて買い出しに行ってくれたので、ノドを潤す。(13:45-14:00)

一休みでリフレッシュして、元気に出発。所沢街道を横断して少し行ってから空堀川の左岸の遊歩道を歩くと、黄色く色づいた柿がたわわに実っており、栗林には弾けた栗がこぼれ落ちている。畑にはキャベツやブロッコリーや白菜や大根が元気に育っている。まさに秋本番だ。この辺は川は立派だが水が全く流れていない。だから空堀川なのかしら…?

おしゃべりをしながら歩いているうちに、志木街道の「野塩橋」に到着。(14:30)ここからは空堀川から離れ、やや狭い一般道を進み、5分ほどで秋津駅前到着。(14:50)ここで解散。

小田原の大貫さん、成田の佐々さん、八王子の山崎さんたちはJR武蔵野線の新秋津駅へ。我々は西武線で所沢に出て西武新宿線に乗り換え、小平を経由して東大和市駅へ。(16:00)

そして南街の「貳拾六文」で8時近くまで大いに盛り上がった。(歩程:約12km、20,100歩)

今回のウオーキングで、我々の住んでいる東大和について日常とは異なる視点から普段見ることのない景観が見られ、我々の中学時代の通学路を思い出すことができた。そして小魚がたくさん泳いでいる川が市内の真ん中を流れ、白サギなども舞いおっている所があるなど、東大和を見直すことができた。

今日も元気に完歩出来たことはこれまで健康に生きてこられた証だ。また次回も元気に完歩出来るように、健康に気を付けて精進していきたいものだ。

今回は「花の昭和記念公園」だ。玉川上水を歩き、残堀川の遊歩道から入園する。そして幾何学模様植えられた色彩豊かなチューリップの中を歩こう。アイランドポピーも咲いていることだろう。